

2012年10月3日

岡山県知事
石井 正弘 様

日本共産党岡山県議会議員団
団長 森脇 久紀

「即時原発ゼロ」の実現へ 申し入れ

「原発ゼロ」の日本を願う国民の世論と運動が大きく広がっています。しかし、経団連などは「現実的でない」と政府に圧力をかけ、原発推進に固執しています。

日本共産党中央委員会は9月25日、「『即時原発ゼロ』の実現を」との提言を発表しました。一日も早く原発の危険を除去する必要性、緊急性が切実になる中で、昨年6月の提言「期限を決めて原発からの撤退を」を発展させたものです。ぜひ、お読みいただきたく思います。

さて、関西電力大飯原発の再稼働を受け、中国電力も島根原発の再稼働に向けた諸準備をすすめておられます。大飯原発の再稼働は、原発事故の原因究明もできないまま、「電力不足」と言って国民を脅し強行したものでした。しかし、この猛暑の夏を、「原発なしで乗り切ることができる」ことが実証され、「原発ゼロ」への声はあっという間に大きくなってきています。

環境省によると、再生可能エネルギーの導入可能量は20億kW、原発54基の発電能力の約40倍とされています。この大きな可能性を現実のものにするために、国民全体の大きなとりくみにすることが求められています。以下、申し入れるものです。

- 1、再生可能エネルギーの普及・開発に、県としても力を尽くすこと
- 2、島根原発1号機、2号機の再稼働をしないよう、また島根原発3号機を稼働しないよう、国および中電に求めること
- 3、上関原発の計画は中止するよう、国および中電に求めること

以上